

平成22年度 鈴鹿中学校・高等学校(6年制) 自己評価

	具体的な計画の目標・評価方法	評価	年度内の成果や課題、達成状況(最終評価)[2月末]	最終評価を踏まえた改善点・向上策
教務部 (総務課)	日常の業務に関する連絡事項を可能な限り文字化することで確実な伝達を行う。	A	◆朝の打ち合わせに出席できない先生方に連絡事項を伝えるため、First Class内の打ち合わせ黒板にその日の連絡事項を掲載した。 ◆朝の打ち合わせ時間の短縮と非常勤講師への連絡伝達のため、教務連絡を発行した。	
	各分掌・会議から職員会議への提案の道筋を定め、運営委員会での検討を十分に行って議題の整理を行って職員会議の進行をスムーズにする。	B	◆各分掌・諸会議から運営委員会への提案の道筋はできていたものの、部長や担当者への連絡が遅れ、期限ぎりぎりでの討議を依頼したこともあった。 ◆運営委員会・職員会議の時間設定は概ね良好であった。	◆議題を整理し、必要に応じて学年主任・教科主任を加えた拡大委員会を開催する。
	学年主任会議を定例化し、行事の精選を行うとともに、より充実した行事計画を方向づける。	B	◆定期的に開催することができた。 ◆情報交換・連絡会議の様相が強くなり、検討するべき課題について議論し切れなかった。	◆平成24年度に向けて関係行事の確認・見直しを進める。
	行事後の総括を職場に返し、改善点を確認するとともに、次年度へ引き継ぐ。	A	◆教務部が担当する行事等については、その都度振り返り用紙を先生方に配付し、回収したものを総括としてまとめて報告することができた。	◆各行事総括をFirst Classにアップする。 ◆弁論大会と合唱コンクールの文化行事委員会担当への移行。
	学級通信や学年通信の発行を促し、学年の動きや生徒の様子を保護者に伝える。	B	◆通信は定期的に発行されたと思われるが、その確認をすることができなかった。 ◆各月行事予定(教職員用・保護者用)を、First Classに掲載することができた。 ◆年間行事予定や行事案内等をタイミングを考慮して保護者に届けることができた。	◆各種通信・案内の配付を確認し、メール配信で各家庭に連絡する流れを作る。
	スクールネットやホームページを利用して情報を提供し、保護者の理解や協力を得る。	C	◆教務部外の前任者に頼りきっている現状があり、メール配信等での保護者への連絡が確実ではなかった。 ◆今年度は、トラブル防止対策が現実的な仕事であった。	◆メール配信については、新システムを導入する必要がある(三年制が使っているシステム導入を検討中)
	情報の収集を怠らず、暴風警報・大雨洪水警報発令時の対応を迅速に行う。	B	◆積極的に情報の収集ができていないのが現状であるが、暴風警報発令時の判断についての用紙を早めに配り、その徹底を図ることはできた。 ◆降雪時の対応で、スクールバスの運行について適切な判断の	◆降雪については、前日からの判断・指示は難しいが、可能な限り早く判断し、H.P.やメール配信で指示をする。
	広報部と協力し、生徒募集に向けた説明会の計画・運営を行うと共に、塾訪問を活発に行い、協力を得る。	B	◆説明会や合格者出校日の運営は概ねうまくできた。 ◆教務部員として広報活動へのサポートがあまりできなかった。	◆広報活動への教務部総務課の業務を明確にする必要がある。 ◆私学フェスティバル?に向けて協力体制を作る。
	入学試験においてミスのない準備・運営業務の遂行に努める。	B	◆昨年度の総括を受けて改善する方向で立案をした。うまくできた点があったものの、予定通りには進まず、特に前日の準備や当日の駐車場については、さらなる改善が必要となった。	◆入試業務の流れ・作業内容を明確にし、担当者が交代しても対応できるようにしておく必要がある。
場所と時期を変更しての初の語学研修を充実させ、総括を次年度に送る。	A	◆計画的に事前準備から進めることができ、以降のために報告書を作成した。◆次年度参加希望者が増加したことは、本年度成功の結果と考えてよいのではないかと。	◆学年との連携体制の確立。 ◆単一学年対象ならば、生徒の把握をしている該当学年主任が委員に入ることが望ましい。	

教務部 (教務課)	ベル授業を推進して授業時間の確保を行う一方、自習時の指示課題を常に準備するよう依頼する。	C	◆まだまだ不十分な現状である。	◆生徒指導部とも連携し、始業時刻から下校時刻までの指導体制強化を図る
		B	◆各学年団で円滑に対応いただくことができた。 ◆学年の先生の協力で可能なかぎり授業ができていた。 ◆万一の場合に備えて自習教材が準備されていて助かったこともあったが、突発的な自習に使える教材の準備も必要である。	◆万一の場合に備えて自習課題(指示)を常備する。
	成績処理システム(成績入力・通知票作成)の改良を行う。	C	◆三年制の成績処理システムとの統合に向けて具体的な作業に入り、大きな成果を得ることができなかった。内容の確認と勉強(研修)ができなかった。 ◆具体的な整備作業ができなかった。作業を進めるにあたり、ハード面の整備が必要になることが分かった。	◆新しいシステム導入。 ◆新しいシステムについて、全教員が入力方法等の操作を確認する場を設定する。
	教務内規の整備を行う。	C	◆今年度は教務内規の具体的な整備作業に取り組むことができなかった。	◆整備作業を進めるためにも多くの意見が必要であり、内規をPDF形式でアップし閲覧できるようにする。
	教育課程の点検・改定を行う。	B	◆次年度の教育課程を確定させるだけに終わり、平成24年度以降の教育課程編成に向けて具体的な取り組みができなかった。	◆情報収集と具体的な作成作業を夏までに行う。
			◆出席簿については、学期ごとに整理をし上手くできた。 ◆長期休暇中に一通り確認作業ができ、新しい出席簿も早めに準備することができた。 ◆生徒指導用録については、その整理・保管が遅れた。	◆公簿等の保管方法・場所を確認する。 ◆公簿の作成について、文書等でマニュアル化したものを作る必要がある。
	日常の業務が円滑に進むよう迅速な対応を行う。	B	◆仕事が偏っている傾向は見られるが、仕事自体は担当者のみで進めた方がスムーズな現状もある。	◆年度初めの割り振りで仕事の偏りを可能なかぎり調整する。
			◆名列表作成は年度初めに行うが、その後の変更が教務部に報告されていないことが多かった。	◆事務部とも連携し、変更を確実に把握する。
		B	◆備品の管理も問題なく終えることができた。欠品はなかったが、節約を心掛ける必要がある。	◆西館に備品の常備場所を作る。
		B	◆中間評価後、事務からの連絡が確実になった。教科書需要数を7月末に県に報告するためにも、新4年・5年の選択科目調査を1学期中に確実に実施することが望まれる(最終決定は2学期三者懇談後)。	◆新4年・5年の選択科目調査を7月中に実施する。

人権教育・教育相談	人権アンケートの設問を吟味し、学級集団づくりに役立てられるように集計結果を取り扱う	B	◆年度初めの文章表記のアンケートは個別の具体性があり、その後の生徒対応や生徒集団の把握に役立った。	設問内容だけでなく、実施期日や回数、方法(学年ごとなど)を再度検討する。
	「人権だより」を定期的に年間6回発行する	C	◆今年度は、教育相談：六年制単独版・教職員版とやや個々の発行となった。	年度当初の担当者会で細かい打合せをし、決めたことを発行ごとに確認し合う丁寧さが必要。
	年間6回の人権ゼミナールを企画し、毎回教職員50名の参加をめざす	B	◆他の会議と重なることが予想以上に多いことや、案内の不十分さなど、目標達成までの進展は見られなかった。今回は校外での人権教育参加(日本語フォーラムなど)などの広がりをみせた。	企画段階で日程と時期の調整が必要。
	教育相談を充実させ、不登校生徒、教室に入れない生徒への関わりを強める	B	◆学校内外の関係者、関係機関への働きかけが積極的になされ、協力が得られている。保護者間の口コミなどで新たな該当生徒が年々急増してきている。	現在のカウンセラー数での対応が難しくなっている。妙案はない。
	生徒会人権委員会の活性化をはかる	B	◆決めた活動は地道に実施しているが、委員会内の活動意欲や全校的な活動の広がりには弱さがある。	制作や広報などのように目に見える活動を今以上に仕組む。
	「子ども人権フォーラムすずか」など、他団体、他機関の活動に学ぶ機会を活用する	B	◆毎年2年生有志の「フォーラム」参加により周辺中学校との関わりが続いている。また、過去の参加生徒がその後高校生対象の人権交流会などに参加する状況も生まれている。還流活動はまだ不十分である。	可能な限り、途切れることのない担当者レベルでの参加に努め、連携を継続していく。
	その他		◆あの全国発表から数年が過ぎ、当時の状況とはかなり違ってきている面がある。現状の課題に合わせて目標等を調整することが必要になってきた。 ◆現在の人権室は用途が広すぎ、活動が重なる不具合を生んでいる。施設の有効利用の点でやむを得ない面があるが、教育活動を大切にすることで検討を要する。	
	生徒・保護者・教師が相談しやすい雰囲気作りを努める	A	・相談者が気持ちよく来室できるよう雰囲気作りに努めたい ・できる限り努力している ・できていると思う	・人権室の職員数が多く、自主来訪者には入りにくい雰囲気がある。この雰囲気を今後も継続して取り組みたい。 ・必要なものはそろえる。カウンセラーの勤務が重ならないのなら、箱庭等の整備を行う。
	生徒の相談内容によって担任や保護者への連絡・連携が必要な場合、速やかに対応をとる	A	・電話連絡・メモを置くなど努力してきた。 ・相談があった場合、速やかに担任等と連携を心がけ、概ね達成できた	・少なくとも担任は、相談を受けている生徒についてかかわってもらいたいと思うが、時間的な制約があり困難を極めた。さらに、学級集団への働きが必要である。また、学年や担任からの連絡連携のシステムが不十分。 ・可能であれば担任や教護教諭のみでなく、学年団の先生方を含めた私怨会議を行うことが必要
	生徒の健全な将来像を見据えた相談のあり方を常に意識し、研修に努める	B	・生徒のよりよい将来像を念頭におきながら、活動を進めてきた ・適宜臨床心理士会主催の「研修会など」を利用し、研修に努めた。 ・個人的にはまだまだ研修不足だと感じている。また、教育相談室全体として、該当生徒に対する共通した将来像を持つ必要を強く感じる。	・学年集団(主に教職員)向けの研修をする機会が必要。 ・個人の力量アップのため、積極的に様々な研修会に参加する。教育相談担当メンバーで勉強会を企画してもいいかもしれない。それぞれが常に情報交換を意識し、共通した将来像を描くように心がける。
3人のカウンセラーが個別に行っている相談内容について情報交換を密に取り合い、お互いにスーパーバイズを行う	B	・勤務時間が重ならず、忙しい中でできるだけことが行えた。お互いへのアドバイスが業務の一環であれば、年度当初に勉強会として事前予定を立てる必要がある。また、外部の講師などを迎えることも考えてもよいのではないかと。	・日に日に相談件数が増加する中で3人のあう時間は物理的に無理な状態になっている ・各学期に一度程度は相談員で集まって、事例検討会を行えると良い。	
カウンセラーと人権相談担当者との連携を密にとる	C	・ますますカウンセラーも人権相談担当者も多忙になり、連携はしづらくなった。 ・速やかな連携を心がけたが、ケースによっては、不十分な点があった。月一回の情報共有会議を持ったが、時間や内容の見直しが必要と感じる。 ・教育相談は、生徒にかかわる教職員がチームを組んで情報を共有し、報連相を密にし、支援を行うものである。カウンセラーと人権相談担当者との連携を密にとってもそこから、担任や学年団へ広げて行かなければ、毎日の学校生活の中で支援にはならない。	・カウンセラーがほとんど身動きできないほどの来室件数が増加する中で連携をとるのは、困難を極める。何らかの手だてが必要。 ・今後も継続して、速やかな連携を心がける。情報共有会議については、会議の在り方をもう一度見直す。 ・人権教育相談担当・養護教諭はカウンセラーとともに動いている。担任一人では限界があり、学年・学校全体で支援をしていく文化が必要。また、人格形成に対しても十分な時間や支援をしていく文化及び環境を作る必要がある。	
人権に関する告訴に対して、担任・学年団と密に連携をとり、速やかに解決を図る	A	・管理職が積極的に動いてもらうことにより、解決に向かうケースが多くなり、よかった。	・担任、学年団だけでなく、管理職を含めて学校全体の取り組みとして早期解決に向かうようにしたい	

生活指導部	登下校時間を守らせる(全員)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●中等部は比較的よくできている。 ●音楽にあわせて声かけできた。 ●登校指導はできたが、下校指導はほとんどできなかった。 ●毎日の取り組みの割りに、年間通じて改善したという印象はない。 ●下校時間が守られていない。 ●学年の中でも意識が統一されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全員の先生での呼びかけや学年単位での統一指導など継続して取り組む。 ●クラブ顧問とキャプテンに下校時間の遵守を徹底して訴える。場合によっては、部活動の停止も考慮する。 ●日常の登校指導は、無理のない範囲で継続可能だが、下校指導は人的配置は困難。
	ベル席の指導(全員)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度よりよくなっている。 ●中等部は担任・副担任で巡回をしているので概ね良好。 ●本館は基本できてい ●少しの遅刻をも許さず徹底的にやったらしっかりやるようになった。 ●入室許可証を取りにくる中等部生徒がとても多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学年主任とタイアップしていかないと難しいのではないかと。特に教室移動を伴う場合には。 ●継続指導と、学年での意識付け。 ●学年指導の大切さ。 ●ベル席ではなくベル授業を指導していけたらと思う。 ●全教職員が共通の意識で取り組む。 ●中等部は特にベル席などの生活指導を徹底したほうがよい。折角6年制で一貫した指導ができるのに生かされていない。
	一斉登校指導(全員)	A	<ul style="list-style-type: none"> ●服装・挨拶共にできた。 ●月一全員で行うことは大切である。 ●マナーは少しずつ改善されつつある。 ●全員でやるということには意義があるが改善したとは思えない。積極的に声掛けは行えたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●服装点検も、正門でやってみてはどうか？ ●服装の注意など可能なように複数人数の配置する。 ●一斉下校指導も検討
	遅刻集計(担当)	B	●1,3学期は数は昨年並み。	
	登下校時音楽(担当)	A	●逆に、音楽が聞けるのでゆっくり来る生徒が多い。鳴らない時の遅刻者が多かった。	
	清掃活動の指導点検(全員)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●概ね良好 ●最低限のことはできている。 ●生徒が必ず呼びに来るという習慣が徹底できたのがよかった。 ●自分の担当区域は責任を持ってできた。 ●生徒指導などの理由で、担当場所を見れないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●担任はどうしても教室の指導が中心になるので、せめて清掃点検は同じ階にする。 ●生指の中で清掃点検担当者を決めて責任を持って取り組む。
	大掃除指導	B	<ul style="list-style-type: none"> ●6年は割りときびき動いていた。 ●準備が遅く不十分だった。・生徒全員に効率的な指示を出すことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学年ごとに、大掃除用の道具を準備する。
	掃除道具管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ●準備が遅く不十分だった。 ●道具の紛失があった。 ●ほうきの整備ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●来年に向けて体制を整えたい。 ●整備委員会を中心に、道具の点検をしっかりとさせる。
	正門での学年指導(全員)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●服装、自転車のヘルメットを含め指導できた。 ●正門前はとても危険なので交通安全メインでいいと思う。あまり欲張っているんな指導は難しい。 	●服装指導もしっかりする。
	週1回の校外登校指導(副担任)	A	●ほぼ毎日定位置に立ち、2つの大集団の指導ができた。	
	防災・防火指導・避難訓練(担当)	B	●校外研修には参加できた。	<ul style="list-style-type: none"> ●火災と地震対策の2回を年間行事計画に入れる。 ●東海地震に備えての訓練や指導が必要
	自転車(点検)(担当)	A	<ul style="list-style-type: none"> ●問題はなかった。 ●不要自転車の除去など3年制の協力もありがたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●命の日を通して、安全運転など指導する ●指導の徹底を！！
	校外補導(担当)	A	●良好。	
	身なり・服装指導(全員)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●クラス内で毎朝に点検している学年がある。 ●学年によりそれぞれの課題あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全教員が共通の意識マナーを訴えていく。 ●まず中等部からきちんとした服装を身につけること ●来年はもう一度ルールを最初に伝えて全校一斉に意思統一して徹底する。 ●実態調査のアンケートも考慮する。
	生徒会(担当)	B	<ul style="list-style-type: none"> ●前期は鈴青祭、後期はボランティア活動を中心に活動。ネパールでのボランティアなど新しいこともできた。 ●制服改善で、方向性を示すことができた。 ●生徒の声をよく反映されてくれたのでよかった。 	
	保健(担当)	A	●性教育、喫煙防止教育に取り組めた。生徒の来客数は増加している。	●継続して取り組む

進路指導部	難関大への意識づけとして「駿台全国中3模試」などのハイレベル模試の取扱い	B	<p>高等部では積極的に紹介や勧誘をし、多くの受験者を集めることができた。また、模試によっては50名近くの受験者ができるなど、上位集団の形成に有効活用ができた。駿台全国中3模試は残念ながら受験者はいなかった。</p>	<p>難関大の実績を上げていくためには、低学年次から高い意識を持った集団作りが必要である。目標の設定はモチベーションのアップにつながる。低い学年でこそ積極的にハイレベル模試の紹介や勧誘をし、受験者の数を増やしていき、学年を引っ張って行く集団を作っていきたい。</p>
	中等部3年間の進路指導の流れと進路学習教材「進路ノート」の活用法の確立	A	<p>進路シラバスを作成し、年間を通じて進路ノートを計画的に活用でき、生徒も興味深く取り組むことができた。外部の人材や、仕事内容や働く大人にスポットをあてた映像教材なども探しながら、進路ノートをベースにしたより効果的な授業を考え実践した。</p>	<p>進路HRや道徳の充実、新学期スタート時の学級づくりに多く活用できるので次年度以降も継続使用していく。単元を組み合わせたり、資料を付けないとノートだけでは授業をしづらい部分があったり、2年と3年の内容で重なっている部分(仕事調べ等)があるのでシラバスの細かな修正をしながら更なる有効活用の方法を考えていく。</p>
	職業体験・インターンシップ(キャリア教育)の充実	B	<p>中3職業体験のトヨタテクノミュージアム・リタケの森訪問は大きなトラブルもなく終了。リタケの森の中身がやや薄いことが課題か。中2では冬休みの「職業インタビュー」や1月に「ホンダ技研」を訪問するなど、新たな試みも実施した。</p>	<p>現時点での企画・立案は難しいが、インターンシップの実施など、生徒が外部と接する機会を増やし、仕事を実際に体験できる場を提供できればよい。今年度の中3での「ホンダ技研」訪問の様な形式で、他学年でも職場訪問などはできるだけ積極的に企画し実施していきたい。</p>
	大学入試に向けたモチベーションアップのための方策の検討(志望校宣言、模擬試験目標設定シートの活用)	B	<p>4年生オリエンテーションで「志望校宣言」を実施、5年生は3学期最初のHRでこれから1年間の学習計画表を書かせて面談をするなど、各学年で工夫をして大学入試へ向けての意識付けに取り組んだ。模擬試験目標設定シートの活用方法は、課題が残った。</p>	<p>やはり低学年次からの意識付けが重要。次年度は中3の職業体験の中に名古屋大学訪問を、夏の学習合宿の中に京大訪問を組み込み、低学年次からの大学入試に向けた意識付けを積極的に進めていきたい。模擬試験についても、受けるだけで終わらないように目標設定シートなどを活用して意識付けをはかりたい。</p>
	各大学の推薦・AO入試内容の検討と効果的な使用法の検証	B	<p>今年度の国公立大の推薦・AOについては、情報収集や個別指導の効果もあり、ある程度良い結果を残すことができた。三重医一医の判定基準は相変わらず不透明。私立大推薦・AOについては二極化が顕著。</p>	<p>次年度も見極めをしっかりと、特に国公立大学を中心に推薦・AOの有効利用をしていきたい。保護者・生徒に対しても推薦についての説明をしていく必要があるので、各学年のコース・科目選択の懇談会などでデメリットを含めながら慎重に説明していきたい。また、推薦内規の一部見直しも検討していく。</p>
	夏期講座・冬期講座実施形態の再検討	B	<p>夏期講座は4日間×4タームの計16日間、冬期講座は3日間×1タームの計3日間ともに大きな問題もなく終了。4年生学習合宿の代わりとして全員必修講座を設置。中等部冬期講座は各学年各教科で必要に応じてハイレベル講座や追指導講座を実施したが、全員必修のスタイルよりもこちらのほうが効果的である。</p>	<p>6年生で実施しているように、各学年ともに夏期講座は各予備校の夏期講座の申し込みとの兼ね合いもあるので、早い時期に(6月中旬までに)どんな内容の講座を開くか生徒に知らせた方がよい。冬期講座は3日間しかないで、焦点を絞らなければ効果がない。次年度もより効果的な講座になるように実施形態や内容の検討をしていく。</p>
	2012年度センター試験科目変更に関する情報収集とカリキュラムの整備	A	<p>2012年度センター新方式についてはカリキュラム修正で対応。社会についてはどうなっても対応できるようにできるだけ4単位科目を選択させた。各大学の科目指定が未判明の部分が残っている状態での科目選択であったが、各学年ともに大きな混乱もなく科目選択を行うことができた。</p>	<p>2012年度入試については、センター試験科目について移行措置を取る大学も多い。また、新課程も目前に迫ってきており、大学入試も大きな変化をしていくと予想される。難関大の一部には、共通一次試験時代(外十数+国+理2+社2=1000点満点)に戻そうとの思惑もある。さまざまな変化に迅速に対応できるよう、次年度以降も積極的な情報収集を心がけたい。</p>
	各模擬試験実施後の振り返りシートの活用	B	<p>中等部、6年生では比較的スムーズに提出できた。</p>	<p>模試の分析はそのあとの指導を考える上でも重要である。次年度も引き続き振り返りシートの提出を実施していく。各学年の進路担当者が積極的に教科担当者に働きかけ、成績返却後1週間を目途に提出していくよう徹底していきたい。</p>

広 報 部	学校案内・ポスター・願書	B	学校案内5,000部、ポスター500部、編入500部作成 デザイン、レイアウト等の評価は、校内外の声を多く聞くように努める。県内外比べてもそんな色ないと自負するが、より良質を目指す。	3年制・6年制と同じ業者で、効率化を図った。しかし、今後の業者選択方法をより厳選するよう連携を組みたい。
	学校・入試説明会(本校)	B	6/19、10/2実施 生徒の協力を得て実施した。参加者(保護者等)からは、非常に好評で、生徒が何よりも大きな広告塔であることを再認識。	「鈴鹿」の特色(ウリ)は、何かをより明確化し外へ発信しなければならない。他校との差別化。私立学校の魅力を発信。
	説明会(各塾主催)	B	6年制編入募集の説明で、広報部担当者以外でもお願いした。本校の教員の顔が、「見える」。受験生には、大切なインパクトである。	6年制編入の説明を高等部の教員中心に主要塾に行ってもらった。「鈴鹿」の教師を少しでも認識してもらいたい機会なので、今後も継続して行くべきであろう。
	塾訪問	B	実施(4・5月、8・9月、10月期)64塾各3回。ある程度の担当塾を固定化しているが、効果率は、図れている。	重点塾への訪問・対応は、これまでの蓄積も大切にしながらの訪問活動は、できていたが、今後個人塾や、小規模塾(受験者若干名)もより密接な関係を構築する必要がある。
	新聞等広告等	B	各新聞社各1回 実施。費用・内容の点からも3年制と連携が必至。	通塾していない児童・その保護者への情報発信は、ある程度必要である。広報費の有効活用は、できていた。
	対 出版会社・塾 資料請求 対応(返信)	C	対応が遅れる。数が多いので、協力が必要か・・・。	期日厳守を心掛け、作業効率を上げる努力が必要。

◎忙しい中集計有り難うございました。全体に前年度末から改善されているようです。各分掌で細かい検討をお願いします。

◆保護者アンケート集計 2010.12

*学年別(割合%)

1. 強く思う	2. やや思う	3. やや思わない	コメント	1年				2年				3年				4年				5年				6年				高等部				全校			
				1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定				
教育目標	1	建学の精神である「誠実で信頼される人に」の人間形成がはぐくまれている	中高で60%越えている	64	26	67	19	69	21	67	22	64	28	56	20	60	32	60	26	64	24														
	2	学校の教育目標が保護者や生徒に明確に示されている	中高で60%越えている	67	26	71	21	66	26	68	25	64	28	63	25	39	50	56	34	64	29														
学校の特徴	3	「真の学力の養成」「たくましさの追求」「人間愛の重視」の方針のもと、自立した人間をめざしている	中で60%越えているが、高等部もう少し	63	28	75	16	64	27	66	24	62	29	54	31	60	32	59	30	64	27														
学習指導	4	6年間を通じて自ら進んで勉強する姿勢がはぐくまれている	中高でほぼ70%	68	28	78	15	62	34	68	27	69	27	71	26	63	31	68	28	68	27														
	5	知的好奇心を刺激して、本当の学力を身につける鈴鹿独自の教育スタイルが実践されている	中高でほぼ60%	68	29	58	22	56	37	61	30	58	35	58	32	49	44	55	37	58	33														
	6	中等部：毎日朝の10分間読書で、一人ひとりの思考力、コミュニケーション能力、など学力向上のための基礎的な力をつけている。 高等部：毎日朝の10分間のBC(小テスト)で、一人ひとりの現状にあわせた学習進度で高校受験を意識せず6年間で幅広く学べる学習スタイルになっている	中高でほぼ60%	72	21	61	19	56	34	63	26	79	20	76	22	34	43	64	28	64	26														
	7	道徳・人権学習の時間などを通して、いじめや差別をなくし、一人ひとりの人権や個性を大切にされた教育が進められている	中高でほぼ70%	69	26	72	15	73	21	71	22	69	25	71	20	62	33	68	26	70	23														
進路指導	8	生徒一人ひとりが希望する進路が保障されている	上昇してきているがまだ50%ほど	42	38	44	30	53	36	46	35	46	36	59	29	58	32	54	32	50	34														
	9	学年に応じた進路指導が充実している	50%台から60%台へ上昇、高が67%	55	29	58	25	62	32	58	29	73	20	71	19	57	36	67	25	62	27														
	10	コース・科目選択の説明が十分になされている	全体60%、高は75%だが、中は53%。	41	28	52	28	66	26	53	27	78	17	80	17	70	25	75	20	63	25														
	11	大学入試情報や入試の動向などがすみやかに適切に伝わっている	高は64%だが、中は54%	44	29	61	21	56	34	54	29	64	26	67	28	60	30	64	27	58	28														
生活指導	12	生徒が基本的な生活習慣や社会のルールやマナーを身につけられるような指導が行われている	高50%、中60%ほど。	59	33	78	15	61	35	65	29	49	46	51	42	63	32	54	41	61	33														
	13	一人ひとりの生徒の様子をいろいろな方法(中等部の日記、高等部の個別面談など)で常に把握し、悩みや相談に親身になってのってくれる	中高とも70%ほど。	68	22	77	16	68	25	70	22	74	22	70	18	66	23	70	21	70	21														
	14	生徒も教職員もよくあいさつができて感じがいい	中高とも70%ほど。	68	29	84	13	70	26	73	24	67	28	76	21	67	29	70	26	72	24														
学校生活	15	安全・安心な学校生活のために教職員は努力してくれている	中高とも80%ほど。	77	18	85	14	82	14	81	15	83	14	78	19	75	18	78	17	80	16														
	16	教職員は保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる	肯定75%	76	20	81	15	76	19	77	19	78	16	71	24	67	25	72	21	75	20														
	17	鈴青祭・研修旅行・弁論大会・合唱コンクールなど学校行事が有意義に実施されている	中86%、高75%	88	10	80	18	88	10	86	12	78	19	80	17	68	23	75	19	82	15														
教育環境	18	生徒にとって、安心・安全・快適な施設・設備である	中83%、高71%	82	14	78	15	85	14	83	14	75	22	73	24	63	29	71	25	78	18														
	19	清掃が隅々までゆきとどききれいな学校である	中70%強、高43%	79	19	81	18	68	30	74	23	50	47	47	52	27	62	43	53	63	35														
家庭との連携	20	学校からの情報はスクールネットや通信等で十分に保護者に伝わっている	中75%、高55%	79	20	77	16	70	25	75	21	65	29	59	37	40	44	55	36	67	27														
	21	家庭で子どもの友達関係や学校での様子など良く把握できている	中67%、高56%	74	24	71	24	60	32	67	27	58	36	55	35	58	37	56	36	63	31														
	22	PTA活動が活発で参加する意義がある	肯定増加してきて50%強。	63	25	69	19	49	40	58	30	50	31	44	37	40	46	46	37	53	33														
満足度	23	生徒が毎日元気よく楽しそうに学校へ行っている	ほぼ90%ほど。	92	7	89	9	88	10	90	8	90	7	83	15	84	11	85	10	88	9														
	24	子どもを入学させてよかった	ほぼ80%ほど。	83	11	83	11	78	15	81	12	80	17	78	14	72	19	77	16	79	14														

◆整数化
◆2010年12月

				中等部								高等部								全校			
1年		2年		3年		中等部		4年		5年		6年		高等部		全校							
1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定	1,2 肯定	3,4 否定						
64	26	67	19	69	21	67	22	64	28	56	20	60	32	60	26	64	24						
67	26	71	21	66	26	68	25	64	28	63	25	39	50	56	34	64	29						
63	28	75	16	64	27	66	24	62	29	54	31	60	32	59	30	64	27						
68	28	78	15	62	34	68	27	69	27	71	26	63	31	68	28	68	27						
68	29	58	22	56	37	61	30	58	35	58	32	49	44	55	37	58	33						
72	21	61	19	56	34	63	26	79	20	76	22	34	43	64	28	64	26						
69	26	72	15	73	21	71	22	69	25	71	20	62	33	68	26	70	23						
62	29	59	26	65	28	62	27	67	25	56	29	71	22	65	25	63	27						
42	38	44	30	53	36	46	35	46	36	59	29	58	32	54	32	50	34						
55	29	58	25	62	32	58	29	73	20	71	19	57	36	67	25	62	27						
41	28	52	28	66	26	53	27	78	17	80	17	70	25	75	20	63	25						
44	29	61	21	56	34	54	29	64	26	67	28	60	30	64	27	58	28						
59	33	78	15	61	35	65	29	49	46	51	42	63	32	54	41	61	33						
68	22	77	16	68	25	70	22	74	22	70	18	66	23	70	21	70	21						
68	29	84	13	70	26	73	24	67	28	76	21	67	29	70	26	72	24						
77	18	85	14	82	14	81	15	83	14	78	19	75	18	78	17	80	16						
76	20	81	15	76	19	77	19	78	16	71	24	67	25	72	21	75	20						
88	10	80	18	88	10	86	12	78	19	80	17	68	23	75	19	82	15						
82	14	78	15	85	14	83	14	75	22	73	24	63	29	71	25	78	18						
79	19	81	18	68	30	74	23	50	47	47	52	27	62	43	53	63	35						
79	20	77	16	70	25	75	21	65	29	59	37	40	44	55	36	67	27						
74	24	71	24	60	32	67	27	58	36	55	35	58	37	56	36	63	31						
63	25	69	19	49	40	58	30	50	31	44	37	40	46	46	37	53	33						
92	7	89	9	88	10	90	8	90	7	83	15	84	11	85	10	88	9						
83	11	83	11	78	15	81	12	80	17	78	14	72	19	77	16	79	14						

は、7月から+10%以上改善、または肯定が60%こえているもの。

◎忙しい中集計有り難うございました。全体に前年度末から改善されている、
 お願いします。

◆参：2010年7月

◆保護者アンケート集計 2010.12

*学年別(割合%)

1. 強く思う	2. やや思う	3. やや思わない	中等部								高等部								全校	
			1年		2年		3年		中等部		4年		5年		6年		高等部		1, 2	3, 4
			1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定	1, 2 肯定	3, 4 否定
教育目標	1	建学の精神である「誠実で信頼される人に」の人間形成がはぐくまれている	61	24	66	12	64	28	63	22	61	25	41	36	47	40	49	34	57	27
	2	学校の教育目標が保護者や生徒に明確に示されている	71	24	72	16	50	38	64	27	65	28	51	34	43	47	53	36	59	31
学校の特色	3	「真の学力の養成」「たくましさの追求」「人間愛の重視」の方針のもと、自立した人間をめざしている	71	23	72	15	54	34	65	24	63	28	48	34	51	31	54	32	60	28
学習指導	4	6年間を通じて自ら進んで勉強する姿勢がはぐくまれている	69	24	75	19	46	48	63	30	61	32	65	31	61	32	62	32	62	31
	5	知的好奇心を刺激して、本当の学力を身につける鈴鹿独自の教育スタイルが実践されている	65	23	74	16	42	48	60	29	49	39	42	42	39	49	44	43	53	35
	6	中等部：毎日朝の10分間読書で、一人ひとりの思考力、コミュニケーション能力、など学力向上のための基礎的な力をつけている。 高等部：毎日朝の10分間のBC(小テスト)で、一人ひとりの現状にあわせた学習進度で高校受験を意識せず6年間で幅広く学べる学習スタイルになっている	75	13	66	20	45	41	62	24	73	24	72	21	43	36	64	27	62	26
	7	道徳・人権学習の時間などを通して、いじめや差別をなくし、一人ひとりの人権や個性を大切にされた教育が進められている	73	13	80	11	58	31	70	19	67	29	64	24	50	42	60	31	66	24
進路指導	8	生徒一人ひとりが希望する進路が保障されている	27	30	42	24	44	39	38	31	47	33	42	36	51	38	46	35	41	33
	9	学年に応じた進路指導が充実している	48	16	52	18	49	36	50	24	55	30	61	22	51	42	56	30	52	26
	10	コース・科目選択の説明が十分になされている	38	22	42	22	51	29	43	25	60	30	67	19	58	37	62	28	51	26
	11	大学入試情報や入試の動向などがすみやかで適切に伝わっている	46	21	55	18	50	37	50	25	51	43	60	27	60	31	58	33	53	29
生活指導	12	生徒が基本的な生活習慣や社会のルールやマナーを身につけられるような指導が行われている	67	25	67	21	48	41	60	30	55	38	51	38	51	39	52	38	57	33
	13	一人ひとりの生徒の様子をいろいろな方法(中等部の日記、高等部の個別面談など)で常に把握し、悩みや相談に親身になってのってくれる	81	9	80	13	59	31	73	18	70	21	66	21	63	29	66	24	71	20
	14	生徒も教職員もよくあいさつができて感じがいい	78	15	84	12	63	30	75	19	63	32	78	16	54	36	66	27	71	23
学校生活	15	安全・安心な学校生活のために教職員は努力してくれている	88	8	90	7	72	22	83	13	81	15	82	11	74	22	80	16	82	13
	16	教職員は保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる	86	4	87	4	74	22	82	11	76	15	76	12	71	24	75	16	79	13
	17	鈴青祭・研修旅行・弁論大会・合唱コンクールなど学校行事が有意義に実施されている	83	8	92	6	81	15	85	10	72	25	86	11	58	34	73	22	80	15
教育環境	18	生徒にとって、安心・安全・快適な施設・設備である	89	6	88	9	85	13	87	9	69	28	67	24	52	42	63	30	77	19
	19	清掃が隅々までゆきとどききれいな学校である	82	16	84	10	67	31	78	20	46	51	44	50	35	58	42	52	63	33
家庭との連携	20	学校からの情報はスクールネットや通信等で十分に保護者に伝わっている	77	22	81	13	65	30	74	22	67	23	63	25	45	48	59	31	68	26
	21	家庭で子どもの友達関係や学校での様子など良く把握できている	73	21	66	25	57	37	66	28	52	45	62	29	59	33	58	35	62	30
	22	PTA活動が活発で参加する意義がある	54	21	47	24	36	45	45	31	36	51	35	34	29	57	34	46	40	37
満足度	23	生徒が毎日元気よく楽しそうに学校へ行っている	95	4	89	9	77	20	86	11	91	9	85	14	86	6	87	10	87	11
	24	子どもを入学させてよかった	86	5	90	7	65	21	80	11	78	16	73	13	74	17	75	15	78	12

◎忙しい中集計有り難うございました。全体に前年度末から改善されている、
 お願いします。

◆保護者アンケート集計 2010. 12

◆参：2010年3月

*学年別(割合%)

1. 強く思う		2. やや思う		3. やや思わない		
教育目標	1	建学の精神である「誠実で信頼される人に」の人間形成がはぐくまれている				
	2	学校の教育目標が保護者や生徒に明確に示されている				
学校の特色	3	「真の学力の養成」「たくましさの追求」「人間愛の重視」の方針のもと、自立した人間をめざしている				
学習指導	4	6年間を通じて自ら進んで勉強する姿勢がはぐくまれている				
	5	知的好奇心を刺激して、本当の学力を身につける鈴鹿独自の教育スタイルが実践されている				
	6	中等部：毎日朝の10分間読書で、一人ひとりの思考力、コミュニケーション能力、など学力向上のための基礎的な力をつけている。 高等部：毎日朝の10分間のBC(小テスト)で、一人ひとりの現状にあわせた学習進度で高校受験を意識せず6年間で幅広く学べる学習スタイルになっている				
	7	道徳・人権学習の時間などを通して、いじめや差別をなくし、一人ひとりの人権や個性を大切にされた教育が進められている				
進路指導	9	生徒一人ひとりが希望する進路が保障されている				
	10	学年に応じた進路指導が充実している				
	11	コース・科目選択の説明が十分になされている				
	12	大学入試情報や入試の動向などがすみやかに適切に伝わっている				
生活指導	13	生徒が基本的な生活習慣や社会のルールやマナーを身につけられるような指導が行われている				
	14	一人ひとりの生徒の様子をいろいろな方法(中等部の日記、高等部の個別面談など)で常に把握し、悩みや相談に親身になってのってくれる				
	15	生徒も教職員もよくあいさつができて感じがいい				
学校生活	16	安全・安心な学校生活のために教職員は努力してくれている				
	17	教職員は保護者の意見を真摯にうけとめ、親切に物事に対応してくれる				
	18	鈴青祭・研修旅行・弁論大会・合唱コンクールなど学校行事が有意義に実施されている				
教育環境	19	生徒にとって、安心・安全・快適な施設・設備である				
	20	清掃が隅々までゆきとどききれいな学校である				
家庭との連携	21	学校からの情報はスクールネットや通信等で十分に保護者に伝わっている				
	22	家庭で子どもの友達関係や学校での様子など良く把握できている				
	23	PTA活動が活発で参加する意義がある				
満足度	24	生徒が毎日元気よく楽しそうに学校へ行っている				
	25	子どもを入学させてよかった				

中等部										高等部						全校	
1年		2年		3年		中等部		4年		5年		6年		高等部		全校	
1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4	1, 2	3, 4
肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定
54	16	45	34	48	28	49	26	36	39	51	25			43	34	46	30
46	29	46	39	43	45	45	38	35	51	34	43			35	49	41	42
49	24	40	39	46	39	46	34	34	46	44	37			38	43	43	37
52	23	48	43	53	36	52	34	47	44	50	40			48	43	50	38
46	25	34	51	36	46	39	41	26	57	30	52			28	56	34	47
70	13	66	26	69	27	69	22	67	24	59	33			64	28	67	25
58	22	56	30	56	33	57	29	47	42	53	39			50	41	54	34
65	20	49	24	60	30	59	25	45	39	59	22			51	33	56	28
28	26	20	39	26	49	25	38	32	54	33	47			33	51	29	44
42	16	32	37	42	41	39	31	47	46	40	47			46	47	41	38
32	21	33	34	58	32	41	29	62	35	50	46			58	40	48	33
35	18	29	49	38	44	35	37	46	45	55	38			50	42	42	39
54	27	40	48	54	36	50	38	32	56	50	39			40	50	46	43
64	21	55	30	57	28	59	26	49	37	62	27			55	33	58	29
70	17	53	33	60	26	62	26	61	32	66	25			63	30	62	28
77	10	81	13	81	15	80	12	67	25	67	20			67	24	75	17
62	18	64	17	70	19	65	19	63	25	58	29			61	27	63	22
88	8	88	8	74	20	84	13	77	19	57	35			69	25	78	17
80	9	81	13	79	15	81	12	69	25	58	33			66	29	74	19
68	20	59	35	55	40	61	32	38	52	33	57			37	55	50	42
78	11	76	21	58	36	70	24	66	31	39	50			56	39	64	30
55	42	64	27	58	33	60	34	62	32	56	34			61	33	60	34
30	27	26	38	33	42	30	37	24	45	27	42			25	44	28	40
86	7	88	9	89	9	88	9	80	14	81	10			81	12	85	10
81	10	66	17	70	19	72	16	50	43	73	18			58	35	65	25